

特定外来生物の防除にご協力をお願いします

特定外来生物による被害を最小限にとどめるためには、**早期発見・防除**が重要です。皆さんのご協力をお願いします。

注意事項

- ◆人に危害を加える場合もあるので、むやみに近寄らない、素手で触らないようにしましょう。
- ◆発見した生き物が人に危害を加える可能性が低い場合は、その場で殺処分をお願いします。
- ◆特定外来生物を生きのまま運搬することは原則禁止されています。植物の場合は、種子や根を落とさないように袋などに密閉して枯らした上で、自治体のごみ処理に従って処理しましょう。（自治会やボランティアなど事前公表された活動や農業及び水産業を営む場合又は森林の経営管理を行う場合で、運搬中の逸出防止措置が行われ、かつごみ焼却施設等に運搬する場合は、植物の生きのまま運搬が可能です）
- ◆野生のほ乳類や鳥類を捕獲する場合は、許可が必要です。
- ◆ヒアリ、ツマアカスズメバチ、セアカゴケグモ等の毒や危険性のある特定外来生物を見かけた場合は、自然保護課へご連絡ください。



ぶちエコやまぐちマスコットキャラクター 「エコっちゃん」

私たちにできること～生物多様性を守るために

生態系は、長い期間をかけて多様に進化し、微妙なバランスのもとに支えあい、つながりあって生きています。**生き物の豊かな個性とつながりを生物多様性**といいます。外来種の侵入が、生態系、人体、農林水産業など幅広く悪影響を及ぼすおそれがあります。

生き物を飼う前によく考える

- ・どれくらいの大きさになるか
- ・最後まで責任をもって飼うことができるか
- ・逃げ出さないように飼育できるか

生き物を他地域で放さない

- ・購入した昆虫や魚、植物などを野外に放さない
- ・本来の生息地以外で放出することで、在来種との交雑や遺伝子攪乱が懸念

特定外来生物を増やさない

- ・植物や昆虫など、身近な特定外来生物の防除を実施
- ・危険性のある特定外来生物を見つけた際は、行政へ連絡



「生物多様性」 私たち人類の存続の基盤であり共通の財産

そのもたらす恵沢を将来にわたり享受できるよう身近なことから行動していきましょう

外来種について詳しく知りたい方は、[県自然保護課のウェブページ](#)をご覧ください。→

◇発行：山口県 環境生活部 自然保護課 自然・野生生物保護班
山口県山口市滝町1番1号 TEL：083-933-3050

2次元バーコードを読み取ると
自然保護課のページへジャンプします。



特定外来生物に ご注意ください



ヒアリ

(写真：環境省提供)

ツマアカ
スズメバチ

(写真：環境省提供)

特定外来生物とは？

もともとその地域にいなかったのに、人間の活動によって他の地域から入ってきた生物を外来種といいます。海外から日本に持ち込まれた外来種のうち、特に被害の大きい種を外来生物法に基づき、「特定外来生物」として指定しており、飼養、栽培、生きのままの運搬、輸入等が規制されています。

どんな問題があるの？

生態系への影響

在来種の捕食や競合だけでなく、交雑種をつくったりする

オオクチバス

(写真：環境省提供)



農林水産業への影響

アライグマ



農林水産物を食べたり、畑を荒らしたりする

人体への影響

セアカゴケグモ



人をかんだり、毒を持ったりするものもいる

外来種被害予防三原則



ヒアリ

(写真：環境省提供)

入れない



アメリカザリガニ

(写真：環境省提供)

捨てない



オオキンケイギク

拡げない

山口県で確認されている特定外来生物（一部）



ヌートリア

県内定着種

南米原産の大型ネズミの仲間で、毛皮採取のために持ち込まれた。全身は茶色で、尻尾が長く、オレンジ色の前歯が特徴。体長は40～60cmで、河川や水路、ため池等の水辺を好む。イネや野菜等の農作物被害が深刻。

アライグマ

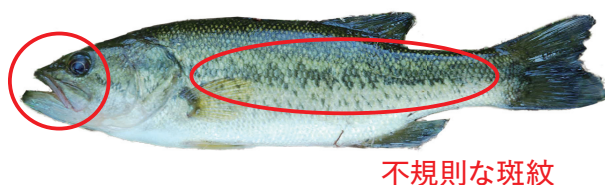
県内定着種

北アメリカ大陸原産でペットが野生化。タヌキは四肢が黒いが、アライグマは褐色で縞模様の尻尾が特徴。体長は40～60cmで、河川や廃屋等を徘徊。木登りが得意で、果樹や野菜等の農作物被害が深刻。



縞模様の尻尾

目より後ろ側まで割けた口



不規則な斑紋

(写真:環境省提供)

オオクチバス

県内定着種

メキシコ北東部からアメリカフロリダ州原産で、通称ブラックバス。ゲームフィッシングの対象魚として分布が拡大。体長は30～50cmで、灰緑色で不規則な斑紋がある。大きな口が特徴で、食欲旺盛なため、希少淡水魚だけでなくアユ等の漁業対象種にも深刻な被害がある。

アルゼンチンアリ

県内定着種

南米原産で、輸入木材等に付着して侵入。褐色で色の濃淡はなく、長い触覚が特徴。在来アリに比べ動きが速く、大きさは2.5～3mm。繁殖力が強く、在来のアリを駆逐する等の生態系被害だけでなく、家屋に侵入し不快害虫としての被害も発生。



長い触覚

くびれは目立たない



花びらの先は不規則

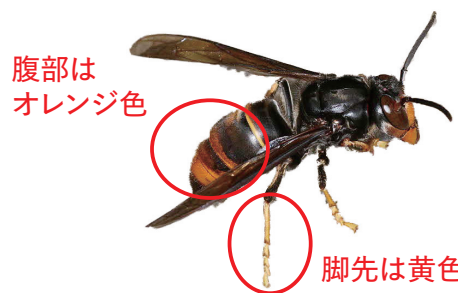
葉は細長く丸みのあるへら状

(写真:環境省提供)

オオキンケイギク

県内定着種

北アメリカ原産で、緑化や園芸用として分布を拡大。5～7月頃にコスモスに似た黄色の花を咲かせる。草丈は50～70cmで花びらの先は不規則に分かれており、葉は細長く丸みのあるへら状。種子は土中で何年も生き残るなど繁殖力が強く在来種を駆逐する等、生態系への影響が懸念。



腹部はオレンジ色

脚先は黄色

(写真:環境省提供)

ツマアカスズメバチ

県内記録種

中国、台湾、東南アジア、南アジア原産。在来スズメバチは頭や体が黄色いが、ツマアカスズメバチは全体的に黒っぽく、脚先が黄色で腹部はオレンジ色。体長は20～30mmで樹木の高い位置に営巣。在来種への影響だけでなく、養蜂への影響、人への刺傷被害が懸念される。R1.11に防府市で営巣を確認。

セアカゴケグモ

県内記録種

オーストラリア原産で、貨物や物流で分布拡大。メスは全体的に黒く、頭部～腹部までは1cm前後。腹部の砂時計のような赤い模様が特徴で、陽のよくあたる場所の地面近くの間隙やくぼみに営巣。攻撃性は高くないが、メスは有毒で人体への影響が懸念される。



背面には赤い模様

注意が必要な特定外来生物

トゲ、突起なし コブ2つ



(写真:環境省提供)

ヒアリ

県内未確認

南米原産で、貨物やコンテナに付着して侵入。体長は2.5～6mmで、全体は赤茶色で腹部は黒っぽい。腹柄（背中のコブ）が2つで、胸部の後ろにトゲや突起はない。毒針で刺されると激しい痛みや腫れを感じる。国内では国際貨物が到着する港等で発見されている。

条件付特定外来生物について

アカミミガメ（ミドリガメ）、アメリカザリガニは条件付特定外来生物として、販売や野外への放出等が規制されていますが、飼育（販売、頒布の目的を除く）は可能です。**現在飼育されている方は、大切に飼育してください。**



アカミミガメ

(写真:環境省提供)



アメリカザリガニ

(写真:環境省提供)

<特定外来生物の規制内容>

	飼養・運搬	輸入・販売・放出
特定外来生物	原則禁止	原則禁止
アカミミガメ、アメリカザリガニ	一般家庭※で販売・頒布を目的としない場合は可能	原則禁止

※飼養等を業として行う場合は、飼養等基準を満たす必要があります